

## バイカル経済フォーラム

全体会合「グローバルな発展におけるシベリアと極東の役割」  
( 9月9日(火) 10:30~13:00 )  
西村外務大臣政務官スピーチ

( 露・英・日・中の同時通訳 )

( 会場に「極東・東シベリア・イニシアティブ」を配布する予定。 )

ミロノフ議長、  
並びにご列席の皆様、

### 【冒頭発言】

第5回バイカル経済フォーラムにおいて再び発言の機会をいただいたことに感謝いたします。

この全体会合におけるテーマは、「グローバルな発展におけるシベリアと極東の役割」であります。我が国は、極東・シベリア地域の発展と同地域のアジア太平洋地域への統合を目指すロシアの姿勢に応えて、昨年ハイリゲンダム・サミットの際の日露首脳会談において、「極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ」を提案し、当時のプーチン大統領の強い支持を得ました。本日は、この「イニシアティブ」を含む日本政府の取り組みについて皆様にご紹介するとともに、「イニシアティブ」の具体化にはロシア側からの積極的な提案が不可欠なことから、皆様のご協力をお願いしたいと思います。

### 【極東における日露協力】

極東・シベリア地域は、豊かな資源を抱え、またアジア太平洋地域と欧州を結ぶ地理的位置を占めた潜在力の高い地域です。近年の経済成長を背景に、ロシア政府は、極東及び東シベリア地域の発展に本格的に力を注ぐことを決めました。これは、単に同地域の開発を目指すだけでなく、極東・東シベリア地域の社会・経済発展をアジア太平洋地域全体の統合プロセスの中に位置付けるというものと承知しています。こうした中、昨年11月に、2012年APEC首脳会合が開催されるウラジオストクの発展計画を含む「極東ザバイカル経済社会発展連邦特別プログラム」が策定されています。

我が国は、アジア太平洋諸国の一員として、こうしたロシアの姿勢を歓迎しています。極東・東シベリア地域が、今後その安定を維持しつつ、経済的潜在力を生かした社会・経済発展を成し遂げ、関係諸国と連携・協調しながら、透明性をもってアジア太平洋地域との経済的、社会的、人的つながりを強化していくことが、この地域の持続的な発展を保証するものとなります。また、こうした努力を通じて、ロシアが、アジア太平洋地域の戦略的安定と持続可能かつ互恵的な発展のために建設的な役割を担うことが期待されています。

### 【極東・東シベリア・イニシアティブ】

こうした経緯を踏まえ、極東・東シベリア地域に対してロシアが有する問題意識に応えるものとして、我が国は、「極東・東シベリア地域における日露間協力強化に関するイニシアティブ」を提案しています。本年4月及び7月に行われた2回の首脳会談においても、「イニシアティブ」の具体化について話し合われています。

このイニシアティブは、両国の民間同士の相互利益となる形での協力を政府としても後押ししていくことを目的としています。日本側として、ロシア側からの具体的な提案を得て、協力を進めたいと考えています。「イニシアティブ」には、以下に紹介するとおり、エネルギー、運輸、情報通信、環境、安全保障、保健・医療、貿易投資の拡大及び環境の改善、地域間交流の8つの分野を協力の柱としています。

#### （エネルギー）

まずは、エネルギー分野での協力です。豊富なエネルギー資源の存在は、極東・東シベリア地域のアジア太平洋地域への統合の原動力となるものです。この分野では、我が国は資本面だけでなく、技術面においても大きく貢献することが可能です。

現在、サハリン・プロジェクトが進行していますが、サハリン では、サハリン・プリゴロドノエにおけるLNGプラントは、千代田化工建設と東洋エンジニアリングによって建設され、そこで製造されたLNGを輸送する船舶の一部は三菱重工によって建造され、その運航は日本郵船とロシアのソフコムフロートによって行われています。このように、世界の天然ガス取引量の約40%を輸入している我が国の世界最高レベルの技術が活かされています。なお、サハリン プロジェクトについては、本年6月に、J B I Cが37億ドルの融資を決定し、同時に、民間銀行団による1

6億ドルの融資も決定されたことも紹介します。

また、東シベリアの資源開発は、今後の大きな課題ですが、ここでも日露協力が始まっています。石油天然ガス金属鉱物資源機構( JOGMEC )がロシアのイルクーツク石油と共同で、イルクーツク州において探鉱事業を行うことになっています。今後、我が国との協力を含めて、東シベリアの開発が盛んに行われれば、「東シベリア - 太平洋パイプライン」の太平洋岸までの建設が現実化することとなり、東シベリアからアジア太平洋地域への資源の供給が本格化するものと期待されます。

また、原子力の分野でも、長期間にわたり継続して新規建設を行ってきた日本の技術はトップレベルにあり、大きな協力の可能性があります。

#### ( 運輸 )

次は、運輸分野での協力です。欧州とアジア太平洋地域を結ぶシベリア鉄道を活用した物流ルートの確保は、ロシア及びアジア太平洋地域双方にとって戦略的利益になるものです。複雑な税関手続きや料金の頻繁な改定などのいくつかの問題点が改善されれば、我が国からシベリア鉄道を経由して欧州に向かう物流が大きく拡大する可能性があり、日露間の政府間作業グループで議論されています。この政府間作業グループの作業の加速については、日露の首脳間でも一致しております。

自動車産業を中心に、サンクトペテルブルク及びモスクワ周辺に日本企業の現地工場建設が進むなど、物流のニーズは確実に高まっており、今が大きな好機と言えます。

#### ( 情報通信 )

アジア太平洋地域と欧州を結ぶ極東・シベリアの地理的位置は、情報通信の分野についても重要です。既に、NTTコミュニケーションとロシアのトランステレコム社により北海道とサハリンを結ぶ海底光ケーブルが敷設され、運用が開始されています。さらに、新潟とナホトカを結ぶ海底光ケーブルの敷設も完了しております。

欧州と東アジアが、極東・シベリアを経由して光ケーブルで直接結ばれることは、ロシア及びアジア太平洋諸国双方にとって戦略的利益となります。今後、他の協力も実現していくことを期待しています。

#### ( 環境 )

北海道洞爺湖サミットでは、環境・気候変動について議論され、大きな進展がありました。我が国は、高い省エネ環境技術を有しており、京都メカ

ニズムの下での共同実施、グリーン投資スキームなどを通じて貴国のエネルギー効率の向上に貢献することができます。現在、協力のための枠組みを整備するための政府間協議が行われていますが、実際の協力は民間ベースとなるため、ロシア側からも積極的な協力を期待します。また、極東・シベリア地域を特に対象として、森林保全に関する作業部会も行われており、研究成果の共有や森林保全プログラムに関して議論しています。

（安全保障、保健・医療、貿易投資の拡大及び環境改善、地域間交流の促進）

「極東・東シベリア・イニシアティブ」では、さらに密漁対策、国際テロ対策を含む安全保障、地域の保健分野の状況改善に向けた保健・医療分野の協力、貿易投資の拡大及び環境改善、地域間交流の促進を掲げています。

このうち、貿易投資分野においては、まさに本日、モスクワにおいて貿易経済日露政府間委員会貿易投資分科会が開催され、税関手続きの簡素化、税務行政の簡素化などの貿易投資環境の整備について議論が行われます。また、サンクトペテルブルグにおいて、9月4～6日に日露投資フォーラムが行われ、5日には、これから経団連日露経済委員会委員長の岡住友商事会長よりご紹介があると思いますが、ロシア産業家企業家同盟との間で日露経済合同会議が行われました。日露間の貿易高は、2002年からの5年間で5倍に急増しており、極東・シベリア地域と我が国との経済関係も大きな発展が期待されます。

地域間交流では、観光交流も重要な役割を果たします。我が国は、8月に、官民代表からなるバイカル観光ミッションを派遣しました。世界遺産としてのバイカル湖に対する我が国国民の関心は高く、貴重な観光資源が十分に活かされるよう、ロシア側においても環境整備を含めて、誘致のための積極的な努力を期待しています。

#### 【イニシアティブのフォローアップ】

以上、「極東・東シベリア・イニシアティブ」を紹介しましたが、貿易経済日露政府間委員会の次官級の地域間交流分科会において、「イニシアティブ」のフォローアップを行うことになっています。7月の日露首脳会談では、この分科会を、秋に開催される可能性のあるフリステンコ産業貿易大臣の訪日の前にも実現すべく調整することで一致しました。

ここで改めて強調したいのは、「イニシアティブ」の具体化には、ロシ

ア側から、我が国との協力が必要な分野についての具体的な提案が不可欠ということです。ロシア側から極東・東シベリアで具体的にどのプロジェクトを優先し、どのような助けを必要としているかについて明確なメッセージを受けることができれば、日本企業の進出に役立つことになるでしょう。昨年11月に「極東ザバイカル経済社会発展連邦特別プログラム」が策定されましたが、我が国の民間企業に対してどのような協力を求めるのかにつき、具体的な提案を期待しています。

日露両首脳は、本年末までに、フリステンコ産業貿易大臣、ラヴロフ外相、イワノフ副首相、そしてプーチン首相の訪日を実施することで一致しています。こうした緊密な政治対話を通じて、極東・シベリア地域における協力を含む幅広い分野における日露間の協力が更に進展することを期待しています。これらの協力の進展は、日露双方にとり戦略的な利益をもたらし得るものと確信します。また、この中で日露間の唯一の政治懸案である領土問題が解決されれば、両国間関係が高い次元に引き上げられることになるでしょう。

お列席の皆様の支援を賜りたいと思います。  
ご清聴有難うございました。